

令和7年度 医療と介護の連携研修会アンケート結果まとめ

日時：令和7年11月10日(月)18:45～

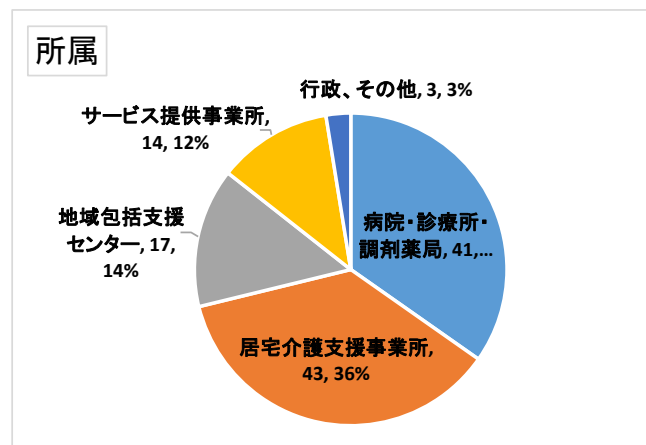
会場：鶴岡市先端研究産業支援センター レクチャーホール

◇出席状況とアンケート回収率(所属別)

	申込者数	出席者数	回答数	回収率
病院・診療所・調剤薬局	44	41	41	100.0%
居宅介護支援事業所	45	45	43	95.6%
地域包括支援センター	20	17	17	100.0%
サービス提供事業所	16	14	14	100.0%
行政、その他	9	9	3	33.3%
総 計	134	126	118	93.7%

◇出席状況とアンケート回収率(職種別)

		申込者数	出席者数	回答数	回収率
医療機関 関係業務 従事者	医師	4	2	2	100.0%
	薬剤師	3	2	2	100.0%
	看護師・准看護師	28	28	28	100.0%
	リハビリ職	2	2	2	100.0%
	MSW	7	7	7	100.0%
	小計	44	41	41	100.0%
介護・福祉 関係業務 従事者	医師	1	0	0	－
	看護師・准看護師	9	8	8	100.0%
	保健師	3	0	0	－
	リハビリ職	2	2	2	100.0%
	社会福祉士	4	4	4	100.0%
	介護支援専門員(主任含む)	56	57	55	96.5%
	介護福祉士	5	4	4	100.0%
	その他	1	1	1	100.0%
	小計	81	76	74	97.4%
行政、その他	保健師	3	3	3	100.0%
	その他	6	6	0	0.0%
	小計	9	9	3	33.3%
総 計		134	126	118	93.7%



1. 研修会の満足度

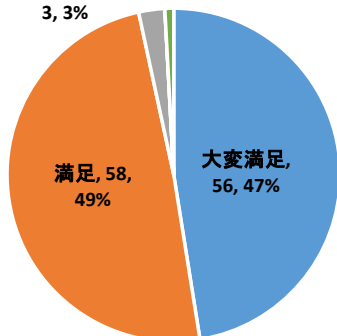
所 属		大変満足	満足	どちらともいえない	やや不満足	不満足	未回答	総計
病院・診療所・調剤薬局	人数	18	21	1	0	0	1	41
	割合	43.9%	51.2%	2.4%	0.0%	0.0%	2.4%	100.0%
居宅介護支援事業所	人数	18	24	1	0	0	0	43
	割合	41.9%	55.8%	2.3%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
地域包括支援センター	人数	11	6	0	0	0	0	17
	割合	64.7%	35.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
サービス提供事業所	人数	6	7	1	0	0	0	14
	割合	42.9%	50.0%	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
行政、その他	人数	3	0	0	0	0	0	3
	割合	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
合計	人数	56	58	3	0	0	1	118
	割合	47.5%	49.2%	2.5%	0.0%	0.0%	0.8%	100.0%

4. 研修会は今後も必要だと思うか

所 属		とてもそう思う	そう思う	少しそう思う	そう思わない	未回答	総計
病院・診療所・調剤薬局	人数	23	13	4	0	1	41
	割合	56.1%	31.7%	9.8%	0.0%	2.4%	100.0%
居宅介護支援事業所	人数	16	23	2	0	2	43
	割合	37.2%	53.5%	4.7%	0.0%	4.7%	100.0%
地域包括支援センター	人数	9	6	0	0	2	17
	割合	52.9%	35.3%	0.0%	0.0%	11.8%	100.0%
サービス提供事業所	人数	10	4	0	0	0	14
	割合	71.4%	28.6%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
行政、その他	人数	2	1	0	0	0	3
	割合	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
合計	人数	60	47	6	0	5	118
	割合	50.8%	39.8%	5.1%	0.0%	4.2%	100.0%

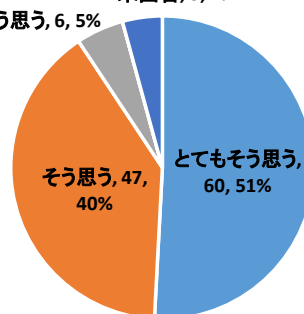
満足度

どちらともいえない, 未回答, 1, 1%



今後も必要だと思うか

未回答, 5, 4%



1. 研修会の満足度の理由

所 属	理 由
病院・診療所・調剤薬局	【大変満足した】
	多職種(他職種)と意見交換できたため。×3
	多職種の方と今までであったことなど含めて話をする事ができた。
	グループワークでは、具体的な意見交換ができた。
	久しぶりに医療と介護の連携研修会に参加できて、とても楽しかった。この楽しさを鶴岡の医療介護の課題解決のエネルギーにしたい。
	【満足した】
	多職種(他職種)と意見交換できたため。×5
	たくさんの人と話できたこと(特に介護系)
	ACPを考える機会になった。×3
居宅介護支援事業所	いろいろな職種の考え方やケア方法、行政の今の状況について、知ることができたため。
	【大変満足した】
	他事業所、多職種(他職種)と意見交換できたため。×5
	話しやすいグループワークのテーマで意見交換することができた。
	顔の見える関係、そして意見交換ができたこと。
	ACPIについて理解できたため。×2
	ACP(人生会議)は避けては通れない。自分自身のACPを考えていこうと思いました。
	ACPIについて自分自身、家族と共に話し合ってみようと思いました。判断力のある年代に働きかけが必要と思いました。
	ACPIについて考えることができたし、自分も子供たちと話していきたい。伝えておかないといけないと思った。
	グループでの情報共有、横のつながりができた。ACPIについて、地域にどのようにつながられるか参考となった。
	【満足した】
	他事業所、多職種(他職種)と意見交換できたため×3
	いろんな職種からの終い時期について聞けてよかった。
	グループで話すことが決められていてそれに集中できたので良かった。
	専門職の方々と情報共有や考え方(倫理観)のすり合わせができた。
	いろいろな意見が聞けたことが良かった。「おひとりさまパス」おもしろい意見でした。
	ACPの普及について考えることができて良かった。
	ACPの認知度がまだ低く、普及していくことが大事と感じた。
	ACPIについて学んだことがなかったので、ACPというものについてみんなで思っていることや考えていることを話し合うことができたのはとても良かった。
	ACPとは？というところから様々な職種の方の意見がうかがえてよかった。

所 属	理 由
地域包括支援センター	【大変満足した】
	グループワーク
	誰もが言いたいことを言えたと思う。
	様々な立場の人と話しやすい雰囲気で見聞交換できた。×2
	医療、介護職と仲良くなれた。
	ACPIの意義をグループワークを通して学ぶことができたため。
	昨年、先生のお話が短かったので残念でしたが、今回はじっくりお話が聞けました。
	【満足した】
	それぞれの立場からの考えを聞くことができた。×2
	初対面の方達ではありましたが話せて聞けて雰囲気がよかった。
	ACPIについて学べて良かったです。
サ ー ビ ス 提 供 事 業 所	【大変満足した】
	グループワークでざっくばらんに話せた。
	他者の意見を聞く機会に恵まれた。ACPIについて学ぶ機会が少ないため。
	【満足した】
	様々な職種、事業所の方の話を聞くことができて良かった。
そ の 政 他 ・	【大変満足した】
	グループワークがとてもよい雰囲気で進められた。
	他職種とそれぞれの立場でグループワークができた。先生のお話はもう少しじっくりお聞きしたかった。

2. 研修会に参加しての気づき

所 属	気 づ き
病 院 ・ 診 療 所 ・ 調 剤 薬 局	各々の倫理観の違い
	とろみはみんなつけない。
	多職種でコミュニケーションが取れた点は良かった。
	いろいろな職種の立場からの問題が見えた。
	多くの方が考えればいろんなアイデアが出る。
	伝わる伝えられる環境はとても大切。×2
	人と人とのつながり、周りのサポート
	どの職種も身寄りのない方のACPIに悩んでいることがわかった。それぞれの立場の考えや要望も聞くことができた。
	自分のできることがあると気づいた。病院⇄地域で情報を共有することが大切だと改めて感じた。
	独居、遠方の家族、身寄りなしを地域で支える仕組み作りが重要だと感じている。また、各分野が「どこが、誰が責任をとる」ことにとらわれているために1人でも生活できる仕組みができにくい部分もあると思う。
	行政を巻き込んでいくことは普及に必要。
	病院以外でのACPIの現状、行政での取り組みも重要。
	自ら考えて動くことも必要だと思った。本人を取り巻く多くの人々、地域の人も含めて巻き込んでいくことも必要と感じた。
	熱量の高い方がいるのに、現場や実務になるとお互いよそよそしくなっている。もっとリアルで話す機会を作りたい。
	ACPIの考え方
	ACPIの根源に触れることができ、グループワークを通して、いろいろな人の考えに気づけた。
	ACPIについて自身がもっと学ぶこと。
	家族と話していこう。
	ACPIについて自分だけ悩んでいるわけではないとわかり、とても勉強になりました。
	人生会議についての課題が共有できた。みんなどのように活用すれば良いか悩んでいるということ。
	ACPIについて「自分だったらどうする」をこんなに掘り下げて考えたことはなかったと思った。
	ACPIが大切なことはわかっているつもりでも自分から積極的に踏み込めていなかったことに気づけたから。
	ACPIについてどのような取り組みをしていくのか考えて現場で実践していくことがとても大切だということ。
	ACPIの捉え方がまちまち。本音で話し合う先には在宅で看取れる環境が整うこと（訪看・主治医）が先決。
	最期に幸福感を得られるかどうか。
	ACPIは人々の幸福を改善する。
	ACPIをとってもハードル高く深刻に捉えてしまっていたけど、そうではない。

所 属	気 づ き
病院・診療所・調剤薬局	ACPIは最期(死)について考える、というよりも、最期までの生き方を考える、という視点の方がしっくりくると感じた。
	残される家族の気持ちも大切。家族も含めたACPをしていきたい。
	ACPの普及のゴールは何だろうか。
	ACPが普及しないことについて、核家族化など、話し合うタイミングがないということがあり、自分自身も親との話し合いをきちんとしたいと思った。
居宅介護支援事業所	多職種で気づきの内容が違っていることを知りました。
	急性期病院と訪問看護、ケアマネ、施設それぞれの立場での考え、課題を知れた。
	人それぞれ考え方が様々だということ。
	ACPIについて考える機会となった。×2
	大事なことなので、常に考えるようにしたい。
	ACPIに対しての難しさ、学習不足。×3
	ACPIについて情報が知られていないことがわかった。
	ACPIについての理解。今後の普及についてケアマネとして取り組むべきことについて
	ACPIはいざという時でなく、日頃からの取組み(仕組み)が必要かなと思った。
	普段から、ACPを行っていくこと。改めて話すのではなく、普段の会話から行っていけるようにしたい。聞く方も重く感じず話し合えるようになればと思う。
	自分自身のことも考えてみたいと思いました。まずはそこから。イメージしてみることの大切さ。人生の豊かさにもつながっていきそうな気がします。自分のことだけでなく自分の周りの人のことも考えることになるから。
	“幸せになるため”に考えること。
	立ち止まって、みんなで話し合うこと。
	「人生のしまい方」について、人それぞれ様々な考え方がある。参考になる考え方もあるが、「自分」としてきちんと考えていくべき。
	自分の思いを常に更新する環境が必要。
	ACPIについては、みんな何かしらのアイディアは持っている。しかし、それを実行するのが容易でない。
	身近で使用しているお薬手帳などの活用の仕方についていろいろな意見が出たこと。
	改めてACPIについて、自分(ケアマネジャー)としての今後の対利用者、ご家族のことを考えさせられました。活かしていきたい。
	地域での普及活動の必要性を感じました。
	人生会議が普及されていないことがわかった。命や死について気軽に話せない現状だとわかった。
	ACPIについて普及させていくための必要なことを感じる事ができた。
	ACPIについて、小学生～高齢者まで学ぶ機会がもっと必要と思いました。
	ACPの普及は難しい？でもできるともっと良い老後が迎えられるのかも…？話し合いの中でもタイミングをいつにするか？という課題がありました。
	ACPの確認…初回アセスメント時に行うと聞きやすい(確認しやすい)ということが参考になりました。

所 属	気 づ き
居 宅 介 護 支 援 事 業 所	ACPの話し合いはまだハードルが高いけれども地域の現状を考えると考えていかなければならないと感じました。
	ACPを考える以前にそれができるかどうか等を考えておく必要がある。
	死を考えることは当たり前のことなので、考えさせられました。
	事業所によって、立場からの意見があり参考になりました。残された人に悔いが残らないような体制が必要。
	「自分だけではなかったんだ」を共有できたこと。こんなものがあつたらよいのにと課題がわかったのではないかな。
	今担当している方々のACPIについて再度考え直すことができた。
	改めてACPIについて考えさせられた。普及できるような未来を願います。
	孤独にさせない。
	救急・医療現場の現状を知れた。高齢者（身寄りのない）が増えていること。
	「治療しても助からない高齢者が救急現場に次々に運ばれてくる」確かに多いのかなと感じた。普段から話し合える関係性を作るのが必要だと思う。
地 域 包 括 支 援 セ ン タ ー	人それぞれの価値観や捉え方、今後のACP、エンディングノートについて学べた。
	たくさんあつた！考え始める良いきっかけ
	様々な職種、それぞれの悩みが知れた。
	ACPがはやっていること。
	まずは自分のACPを考える。
	ACPIについてもっと正しく学習する必要がある。
	ACP＝人の幸福
	幸せになるための計画
	普段から身近なものにしていかないと広がっていかない。
	周りの環境が大事。つながりを大切にしていくこと。普及することが必要だと思う。
	人生の終わりをきちんと考えている人は少ない。ACPの普及が必要と気づいた。
	自分、家族ともども将来の自分の姿を見据えて（予測して）話し合いの場を持つことは大事だと実感しました。
	「ACPのやり方、考え方に正解はない」という言葉で、肩肘張らずに考えたり、利用者、家族に話ができるかもと思えた。
	ACPIは自分事でありながら、それを実現するためには周りの方を巻き込むことになるけれども、多少わがままを言って振り回されても、看取る側も「やりきった！」と思えるなら良いことだなと思ったこと。

所 属	気 づ き
サ ー ビ ス 提 供 事 業 所	多職種それぞれの立場での考え、経験を共有でき良かった。×3
	ACPIについて自分自身もっと学び、話し合わなければならない。
	このような場をきっかけに地域で取り組めたらと思いました。
	鶴岡にこれだけ多くの専門職がいるということは励みになります。
	医療と介護、他、以前よりフランクに活発に話ができる場になったこと、これはすばらしいと思いました。
	自身の家族のACPIについては話しているが、仕事で関わる高齢者にACPの話はできていない。
	普及の妨げになっていることに対して、全く問題視していなかった。私は常日頃、家族と話していることも多く、仕事柄ということに気づいた。
	いざ看取りとなった時、介護する側、家族、一番は本人の意思を大事にするための行動は早め早めの話し合いが必要と感じた。
	「死についてのイメージ」についてや、ACPIについての子供～の教育不足ということで、確かにその通りだなと思った。
そ の 政 他 ・	ACPの周知がまだまだである。
	幸せな最期のためのACPという言葉が印象に残りました。
	誰もが迎える死について、元気うちから、自分が望む幸せな最期を語れるようになること。いざというときにそれを伝えてくれる人が身近にいることが大切。

3. 本日の研修会に参加して取り組んでみようと思ったこと

所 属	取り組んでみようと思ったこと
病院・診療所・調剤薬局	ACPについて家族と話してみる、自分の周りから取り組みたい。など×10
	終活ノートは1つのきっかけづくりになると思う。そこから、どう生きたいかに逆に考えていく。そのように、もう少し気軽に話題にしていきたいと思う。患者やその家族にも。
	患者との対話の強化。思いを聞く時間を作ること。など×4
	ACPのテーマに家族・本人が向き合えるような働きかけを可能な限り行っていきたい。
	チームで行う意思決定支援の考え方、実践を推進したい。
	日々、地道にACPIにおける看護支援を実践すること。
	終末期。独居者への支援。
	倫理的な配慮を引き続き行っていきたい。
	ACP普及
	ACPについての知識の向上。研修会への参加。理解を深めるための学習会をしたい。など×5
	「ACP」のカンファレンスも職場で取り入れていきたい。×2
	おひとりさまパスを実現させよう！
居宅介護支援事業所	ACPについて家族や身近な人に話してみる。×13
	まだしっかりしているうちにACPのことを話してみる。普段の会話のやりとりからACPを意識していく。など×3
	ACPという言葉だけの認識でなく、行動に移してみたい。
	ACPのタイミングが難しい。
	ACPについて利用者やその家族へ普及したい、ACPのきっかけ作りをしたい、話し合う機会を取りたい。など×6
	看取ってくれる環境について考える。
	看取りになる前に本人の言葉を家族に伝えたり、その時どうしたいかを本人や家族に考えていただき、どちらも満足する生き方ができれば良いと思いました。
	意向の確認
	人生会議に対する深掘り
	どのように聞いていくのか調べてみて、話しやすいケースで聞いてみたいと思う。
	本人の家族が今後についてどう思っているか聞けないことがあった。今後は少しでも思いや考えを聞くことができれば良いと思った。
	これから起こることを予想して、家族と話してみる。相談対応等のときに本人の思いを聞き出し、家族に聞いてもらう。
	ACPについての学習×3 事業所内での勉強会
	ACPを普及するため、行政に相談して集まる機会を作り、地域で取り組んでいきたいと思います。

所 属	取り組んでみようと思ったこと
居宅介護支援事業所	<p>関わる事業所でのエンディングノートやACPについて考え、関わっていきたい。</p> <p>高齢者の体調不良ですぐに病院に行くという発想だったので、本人の希望に添って、環境を整えるか？誰が整えるのか？</p> <p>おひとりさまパス、良いと思います。</p> <p>おひとりさまパスを普及させたい。この件を検討してほしい。</p>
	地域包括支援センター
サービス提供事業所	<p>話し合い</p> <p>ACPについて家族と話してみる。×2</p> <p>まずはエンディングノートを記入する。そして周囲(家族)に伝える。</p> <p>今私も家族と同居しているが、なかなか時間が合わないこともあり話をする機会が減っていると感じる。家族間の話のきっかけになればと思った。</p> <p>自分自身の家族や利用者と望むケアについて話すきっかけづくりをしていこうと思いました。</p> <p>施設入所者に少し話す。部署での勉強会。</p> <p>家族、地域でACPを語る。</p> <p>ACPの普及</p> <p>ACPを職場の対象者、同僚、地域に広める手立てをやりようと思います。</p> <p>入所前の段階でのACPが行えるような、周知のできる勉強会や興味を持ってもらえるような話し合いのできる環境を少しずつ作っていききたい。</p>
その行政・他	<p>自分のACPを考えてみたい。</p> <p>家族とACPを話すこと。</p> <p>地域へのACPの普及。×2 具体的な取り組みにつなげていく。</p>

4. 今後の研修会の内容、アイデア等

所 属	内 容、アイディア等
病 院 ・ 診 療 所 ・ 調 剤 薬 局	今回のような研修でよいと思います。
	ACP
	ACPIは市民講座で定期的に行ってほしい。協力できれば…
	身寄りのない方の対応に困っています。(独居パスの話もありましたが…。)何かヒントをいただきたい。
	おひとりさまパスの実現を心から願います。
居 宅 介 護 支 援 事 業 所	グループワークから何かもっと発展させられないかな？
	いろいろな意見が出るので良いと思う。1人では思いつかないことも聞くことができるのが良いと思う。
	鶴岡版のACPのツール(エンディングノートのようなもの)をみんなで意見を出し合って作っていったらどうか。
	医療と介護の連携ということで、具体的に入退院時互いに課題と考えていることなど。
事 務 サ ー ビ ス の 提 供 者	医療も介護も人材不足。なり手不足について行政もまじえてどうしていけばいいかの話し合い
	対面のグループワークは大事だと思います。
そ の 他 の 機 関	R8は、その後の具体的な取り組みの紹介、事例の共有ができればよい。

5. その他意見など

所 属	意 見
所 病 院 ・ 調 剤 薬 局 ・ 診 療	グループワークだと細かな気づきにつながり良かった。みんな、同じ悩みを抱えており、地域全体で情報共有できれば良いと思った。
	多職種で話し合うことは大事だと常々考える。このような機会があればまた参加してみたい。
	可能であれば月曜日を避けてほしいです。
居 宅 介 護 支 援 事 業 所	違う職種の方と話すとなんか状況の方の話が聞けて参考になりました。
	グループワークで意見を聞け、いろいろな話もできて良かった。他職種の方の話、立場的意見も聞けたこと、勉強になりました。
	日中開催だとありがたいです。
	月の夜の研修は少しきつい……
	開催時期について、9月末～10月中旬くらいであれば参加しやすいです。
援 地 域 セ ン タ ー の 支 援	来年もよろしくお願いします。
	ACPIについて学ぶ機会があまりなかったのよかったです。
事 務 サ ー ビ ス の 提 供 者	準備ありがとうございました。お疲れ様でした。×2
	開催ありがとうございました。駐車場がもう少し明るいといいなと。
そ の 他 の 機 関	会場設営、ファシリテート等ご準備ありがとうございました。